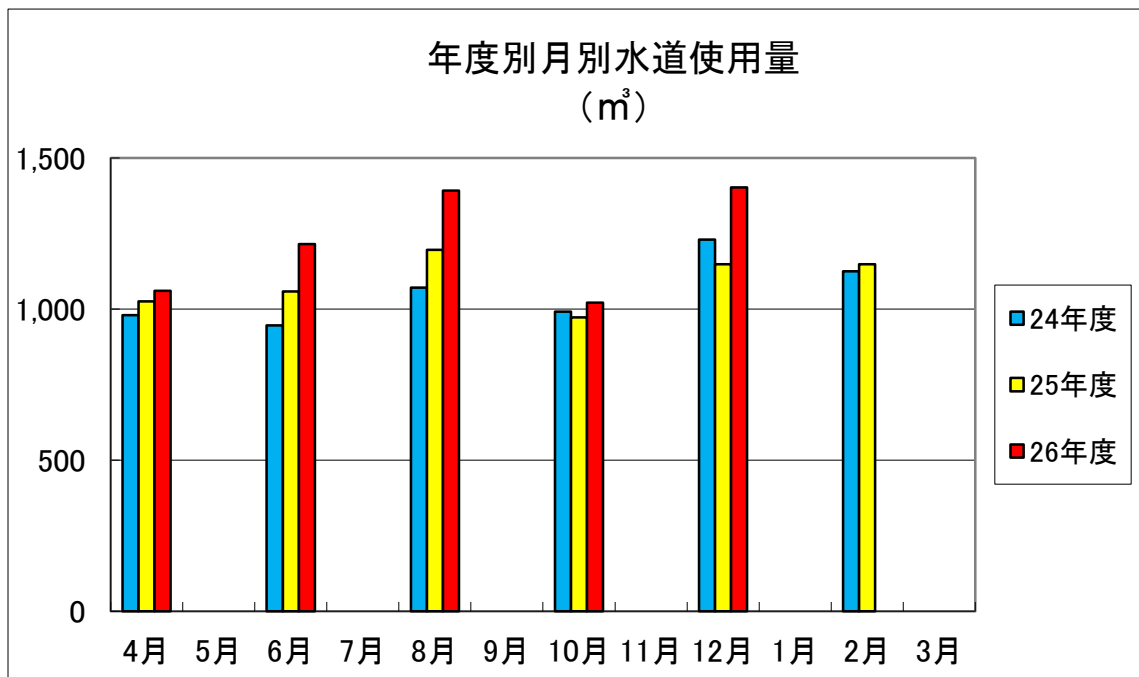


節水しましょう！

11月発行の通信で、本校は、昨年度まで省エネを頑張ってきたということを紹介しました。特に、節水の面では、大きな成果が出ているとお知らせしました。ところが、今年度の使用量が年末に発表され、右のようなグラフとなりました。残念なことに、今年度は、水道使用量が、かなり増えているのです。年末年始の漏水調査で、漏水はないことが判明しましたので、昨年度より、明らかに使い過ぎているのです。



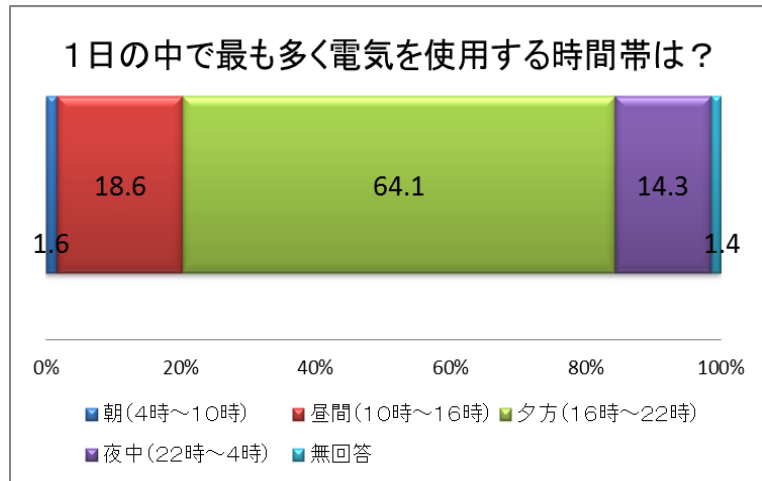
さて、ふだんの学校生活で、水が出しっぱなしになっていることはありませんか。必要な量の水を使って、使用量が増えるのはしかたありません。もし、無駄な水の使い方をしていたり、見かけたりしたら、お互い注意していきましょう。生徒一人一人が、少し気をつけるだけで、かなりの節水ができるものです。

まずは、今学期、学校での節水に挑戦してみましよう！

電気はいつ使う？

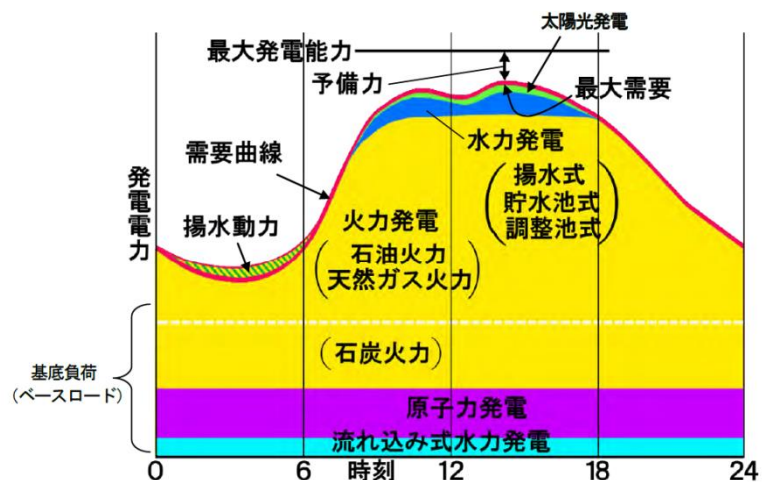
水の次は、電気について紹介しましょう。

さて、10月に実施した全校生アンケートで、右のような結果が出ました。1日で最も多く電気を使用する時間帯は、夕方（16時～22時）と答えた生徒が6割以上いました。さらに、夜中と答えた生徒も1割以上いました。おそらく、夜は照明を多く使うので、使用量が多いと考えたのでしょう。



しかし、よく考えてみてください。まず、夜中は、多くの方が就寝以降は電気をほとんど使いませんね。だから、夜中はあり得ません。では、夕方はどうでしょう。みなさんの家では、テレビを見たり、食事の用意をしたりと、昼間に誰もいない家なら、昼間以上に多くの電気を使っています。だから、夕方と答えたのでしょうか。では、昼間、お家の人は、どこで何をしていますか。みなさんは、どこで何をしていますか。工場で働いたり、会社に行ったり、みなさんは、学校にいますね。この時、電気はどのように使われているのでしょうか。そう、もうわかりましたね。昼間が、一番、電気を使うのです。

右の図は、1日に発電できる電力を模式化したものです。今、原子力発電所は稼働していませんから、原子力発電の部分は、火力発電で補っています。これを見ても明らかですね。工場や電車などで使う電気に比べたら、学校で使う電気は少ない



2012年 経済産業省資料から

いですが、無駄な電気を使わないことは大切です。ふだんの学校生活や家庭でも、電気の使い方を少し気にしてみましょう。